

社協 たてやま

冬号

R2. 11. 15 発行 No. 149

 この広報紙は共同募金の助成金で発行しています。



TEL.23-5068 FAX.22-8805
e-mail madoguchi@fukushi-tateyama.or.jp
URL <http://www.fukushi-tateyama.or.jp>

富崎地区買い物支援等に関する打合せ

「歳末たすけあい運動」全国一斉に始まります

社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会、住民の方々が協力して「歳末たすけあい運動」をおこないます。

歳末たすけあい運動は、共同募金活動の一環として、毎年十二月一日より全国一斉に始まります。福祉施設入所者や、児童養護施設入所者、要援護世帯など、誰もが明るく新年を迎えられるよう、市民のみなんで支えあう運動です。

歳末たすけあい募金で集まった寄附金は、社会福祉協議会の理事会（配分委員会）で配布内容を決定し、日常的に援助や支援を必要としている人たちに配布されます。十二月下旬に民生委員さんをはじめ、福祉関係団体や機関を通じて配布される予定です。

みなさまのご支援とご協力をお願いいたします。

募金方法

- 戸別募金 町内会長さんや役員さんが、戸別にお願いに伺います。
- 街頭募金 団体が街頭募金を行います。
- その他の募金 個人・団体をお願いします。

今年度募金目標額 543万円
一世帯あたりの目安 300円

【実施期間】
12月1日～12月31日まで

集められた寄附金は大切に使われます

歳末たすけあい募金は、市内にお住まいの方々に届けられます。

- ・要援護世帯
- ・老人福祉施設入所者
- ・障害者（児）福祉施設入所者・通所者
- ・児童福祉施設入所者
- ・障害児特別支援学校通学者
- ・女性長期収容施設入所者



昨年度（令和元年度）の歳末たすけあい寄附金は、下記のようにお届けしました。

配分先	人数	配布金額
要援護世帯	68世帯	1,700,000
館山養護老人ホーム・ひかりの子学園・中里の家・中里ワークホーム・ケアホーム平砂浦・桜の里・ワークス館山・館山憩いの家共同作業所・グループホームなの花沼憩いの家・グループホームなの花八幡ふれあいハウス・グループホームなの花中央ハイツ・グループホームなの花サテライトバロン小宮・グループホームなの花八幡憩いの家・グループホームなの花エトワール九重・NPO法人夕なぎ・グループホームみなと・ばんぶーはうす 入所者・通所者	234人	2,340,000
かにた婦人の村 入所者	32人	160,000
安房特別支援学校 通学者	78人	390,000
応急援護費（翌年度へ歳末たすけあいへ繰越）		1,077,121
地域福祉対策費（次年度受配）		400,000
総額		6,067,121

ご寄附のお礼

（受付順・敬称略）

温かいお気持ちをありがとうございました。みなさまからの寄附金は、地域福祉活動に活用させていただきます。古切手や使用済みテレホンカードは、「NPO法人誕生日ありがとう運動本部」へ送り、バザーや海外旅行のおみやげとして販売し、福祉施設等の活動資金となります。

寄附

（社会福祉振興基金）
R2.8.6～R2.10.20

花井 陸至 10,000円
上町城山寿会 329円

善意の寄附

R2.8.6～R2.10.20

▼古切手……………40件

スナックひろみ・外房捕鯨（株）・ホテルマイグラント・みつみね不動産・クリーニングみつみね・君商・三浦建設（株）・安房歌人会・伊豆倉和之（株）サングリーン・秋山一夫・上町

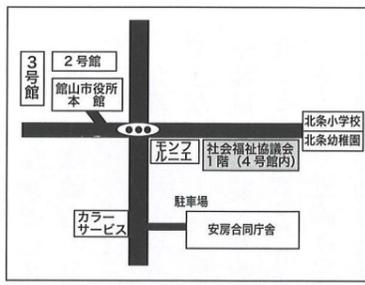
城山寿会・網代優・芝崎さくら会・（株）安房環境衛生・粕谷昭一・ジェイアールバス関東（株）館山支店・ばんぶーはうす・地域包括支援センターたてやま・岩崎美香・成瀬写真館・荒木千佳子・早川電工（株）・鶴澤美恵子・那古寺・税理士法人MIGO館山事務所・伊藤洋子・鶴賀憲治・日本郵便オフィスサポート（株）・しろやまカイロプラティック・加藤建設（株）・山根秀人・匿名8件

▼使用済みテレホンカード 4件

吉川恵・荒木千佳子・匿名2件

※善意の寄附は、古切手及び使用済みテレホンカードのみお預かりしています。

【受付・お問合せ】
社会福祉協議会事務局
☎23-5068 FAX 22-8805
館山市北条402(市役所4号館内)

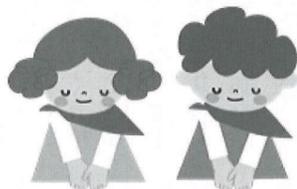


フードドライブのお礼とご報告

令和2年9月14日から10月30日の期間で実施したフードドライブにご協力いただき、ありがとうございました。

皆様のおかげで、お米が約565キログラム、菓子類や缶詰などの保存食品、飲料など合計100点以上集まりました。

これらの食品は、フードバンクちばのほか、市内福祉施設や子ども食堂、生活困窮者の方々に提供させていただきました。



たくさんの食品が集まりました！



※写真は一部です。

の協ひるば

相談

▼心配ごと相談

財産・家族・離婚問題など、心配ごとや悩みごとのある市民のみなさんのために、相談をお受けしています。

・一般相談（相談担当職員が対応します）

毎週火曜日 午前10時～午後3時
電話での相談も受付します ☎ 24-0294
(予約不要 当日受付順に相談)

・専門相談（弁護士が対応します）

第1・3火曜日 午後1時～午後3時
(予約必要 一般相談を受けていただいた方で専門の相談を希望する方、1日2件まで)

・場所／市役所4号館(旧市民センター)

※相談日が祝日の場合は翌日になります
【問合せ】社会福祉協議会 ☎ 24-0294

案内

▼福祉カーの貸出

- ・対象者／市内にお住まいの心身障害者や高齢者とその家族、
- ・貸出期間／原則として1日（土日祝日は不可）
- ・費用／無料
(ただし、使用した燃料費は利用者負担です。)
- ・申込／社会福祉協議会 ☎ 23-5068
(☎で確認のうえお申込みください)

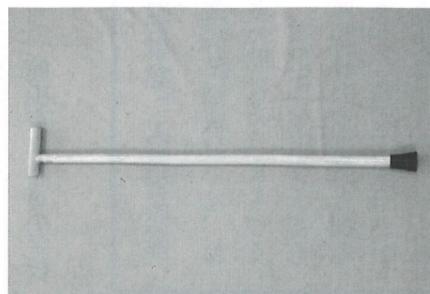
▼車椅子の貸出

- ・対象者／市内にお住まいの在宅の方で、介護保険法または障害者総合支援法の対象とならない方（介護保険等による福祉用具の利用を優先してください）ただし、介護保険等の対象者であっても、福祉用具を日常生活において常用するのではなく、旅行または冠婚葬祭などの行事において、その間だけ一時利用する場合は貸出可能です。
- ・貸出期間／3ヶ月以内
使用目的等により貸出期間を個別に決定させていただきます。継続して必要な場合は、一度返却していただき、改めて使用目的等により申請を提出していただきます。
- ・費用／無料
- ・申込／社会福祉協議会 ☎ 23-5068
(☎で確認のうえお申込みください)



▼つえの給付

- ・対象者／市内にお住まいの歩行困難な65歳以上の方
- ・給付期限／過去3年間につえの給付を受けていない方。
- ・費用／無料
- ・申込／各地区民生委員にお申込ください。



令和二年第二回 介護家族のつどい

令和二年十月十四日（水）に令和二年度第一回介護家族のつどいが実施されました。昨年度は、台風被害により中止・延期が続き、今年度も新型コロナウイルスの影響により、国内情勢を鑑みこれまで延期してまいりました。

この十月によろしく、令和二年度第一回介護家族のつどいを開催することが出来た。参加者数は4人と少ないながらも、1時間話をすることが出来ました。

現に介護されている方からの意見や介護経験者からのアドバイスなど参加者相互で普段話すことのできない内容を話せたように感じています。

介護家族のつどいでは、同じような境遇にいたり経験をしている人同士が話をすることによって、介護ストレ

スの軽減や気持ちが楽になることを目的としています。

人は誰かに自分自身の悩みを共感してもらおうことで、気持ちが楽になると思えます。また、同じような悩みを抱えている人が「自分だけじゃない」と思えることも安心につながると思っています。

一人でも思い悩み考えている方や、誰かに相談をしたい方、誰かと話をしたい方等、お気軽にご参加いただければと思います。

令和二年度第二回開催は十二月を予定しております。広報等でご案内致します。ご質問等ございましたら、館山市社会福祉協議会にご連絡ください。

現在、全国の課題として高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができず、行政や包括支援センターと連携して、システムづくりを進めております。

地域づくり活動

「地域包括ケアシステム」が必要とされるようになったのは、日本における急速な少子高齢化が背景にあります。独居の高齢者や高齢者のみの世帯、認知症を抱える方が増えています。

介護保険サービスや医療だけで、高齢者の生活を支えていくことは困難です。介護保険サービスなどで、できないことは、自分自身や地域（自助・互助）で行うことが重要となります。

そこで、近隣住民や顔見知り同士で助け合い支え合

いながら、元気で住み慣れた場所で生活できるように地域全体でバックアップしていく「地域包括ケアシステム」が必要となります。

「地域包括ケアシステム」は、地域の実情や特性に合った体制を整えていくものです。そこに住む住民の方が主役となります。そこで、地域でのワークショップの開催を勧めています。

しかしながら、昨年度の台風による被害や、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域で集まる機会や、話し合いを実施する機会が失われてしまいました。台風から約1年、感染症の拡大から約8カ月、いずれも完全に収束してはいませんが、サロンや体操教室などの集まり、地域での話し合いが徐々に再開しております。

九重地区では、ワークショップを再開し、九重地区独自の地域づくりのパンフレットの作成や、現状を話し合っています。

富崎地区でも、地域住民がかねてからの課題であった、移動販売や買い物について話し合い、包括支援センター・社会福祉協議会が連携し、中里ワークホームの協力により出張販売を実施することになりました。初回は十一月十九日(木)に実施する予定です。

地域づくりでは、その地域に住んでいる住民の方が主体となります。地域の方が課題を共有し、話し合いができる体制を増やしていければと考えております。

地域福祉増進の要として、社会福祉協議会も努めてまいります。ご協力をお願い致します。



生活福祉資金 教育支援資金のご案内

高校や大学などに就学するために必要な費用でお困りの方に対し、その費用をお貸しする生活福祉資金貸付制度の「教育支援資金」があります。

対象：学校教育法に定める学校（高校、高専、短大、大学および専修学校）に入学する者 ※就学者本人が借受人となります

内容：以下のとおり2つの支援費があります。

利子	教育支援費		就学支度費用
	無利子		無利子
貸付上限額	高等学校	月額 35,000 円	50 万円
	短期大学	月額 60,000 円	
	専修学校専門課程		
	高等専門学校		
大学	月額 65,000 円		
対象経費	<ul style="list-style-type: none"> 授業料 通学費 教科書等の学用品購入費 など 施設整備費 修学旅行の積立金 		<ul style="list-style-type: none"> 入学金 制服 アパート契約費用 など 教科書 通学用自転車

※本資金よりも次の他制度が優先となりますので、申請に際してはまず他制度が利用できるかどうか確認していただきます。

他制度例

- ・日本学生支援機構奨学金
- ・日本政策金融公庫（教育ローン）
- ・母子父子寡婦福祉資金

こちらで教育支援資金を含めた生活福祉資金のパンフレットをご覧になれます！

※教育支援資金は P10



お問合せ・お申込みは、
館山市社会福祉協議会
☎ 0470-24-0294

第35回 館山市社会福祉大会開催

例年、本大会は福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝を表すために開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、今年度の館山市社会福祉大会については各表彰者のみの参加で行います。



日時：令和2年12月1日（火）

開演：13時30分～

会場：館山市コミュニティセンター（第一集会室）

大会式典

- 福祉功労者表彰及び感謝状贈呈

受賞おめでとうございます！

社会福祉大会の席上で次の方々に表彰状・感謝状が贈られます。

受賞者の方々（敬称略）

■ 県社協会長表彰

（施設団体等職員功労者）

田邊しのぶ 鈴木智美 川村弥生

■ 県社協会長表彰

（民生委員児童委員功労者）

池田一彦 日向敬子 中島光子

小栗美恵子 家守ちづ子 小峰恭子

■ 県社協会長感謝状

（社会奉仕活動者）

小谷誠子

■ 県共同募金会会長感謝状

（奉仕功労者）（町内会（区）長）

小田喜茂 出口忠明

■ 県共同募金会会長感謝状

（奉仕功労者）（民生委員児童委員）

山口 勇

■ 館山市社会福祉協議会会長表彰

（ボランティア・地域ボランティア）

内藤美智子 渡邊留五郎 齋藤実

石井勝由 青木悦子 福原昌子

吉田兼雄 大井麗子 児玉聡子

中野美千代 石井憲子 熊澤香代子

小高エミ子 中山佐季子 鈴木由美子

早川美千代

■ 館山市社会福祉協議会会長感謝状

（寄附者）

館山市給食ボランティア調理員一同

川崎最大会 花井陸至 鈴木孝男

■ ふれあい活動事業入賞校

市長賞 館山市立第三中学校

教育長賞 館山市立第一中学校

社協会長賞 館山市立九重小学校

「ふれあい活動事業」入賞者発表

館山市社会福祉協議会では、お互いが支えあい助けあうまちづくりをめざし、次世代を担う子どもたちが、地域福祉への理解と関心をもってもらうために、市内小中学校が行う活動について「ふれあい活動事業」として募集を行いました。

就労準備支援事業 活動紹介

館山市社会福祉協議会では、現在、館山市の委託により生活困窮者自立支援法に基づく就労準備支援事業を実施しています。

このページに掲載している写真は、支援プログラムの一環として、利用者の方々とこの夏に育てた作物です。作業を通して、「協調性」、「作業効率」、「挨拶・返事」、「報・連・相」を身につける練習をしました。また、収穫の喜びと達成感を感じる経験に繋がりました。



ゴーヤとキュウリのグリーンカーテンを作りました。キュウリの育ちがイマイチ…。農業指導のボランティアさん、お待ちしております。



トウモロコシの苗を寄付していただき、初挑戦しました。実がまばらで見た目は悪いですが、自分で育てたからこそ美味しさが味わえます。試食では「甘くておいしい」という声も聞けました。



コミュニケーションが苦手な方、様々な理由で自宅にひきこもってしまった方、生活リズムが乱れがちな方など、一人ひとりの状況に合わせたプログラムを考え、支援を行っています。例えば農作業一つとっても、力、知識、要領、器用さなどなど、様々な能力を培う経験になります。作業を通して、得意・不得意を一緒に見つけていき、後のプログラムの計画に活かしていきます。

好きなこと、得意なこと、挑戦してみたいことをきっかけにして、外に出て、体を動かしてみませんか。

あせらず、ゆっくり、自分らしい働き方を見つけていきましょう。

相談窓口 ☎ 0470-24-0294

今年の夏も暑かった！酷暑の中、利用者の方々と植えた朝顔は美しく咲き誇り、見事な咲きぶりを見せてくれました。種がたくさん収穫できましたので、数量限定で配布しています。市役所4号館社会福祉協議会の受付前に置いてありますので、ご自由にお持ちください。

